

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」北田宮校		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 9日		～ 2024年 12月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	2024年 11月 9日		～ 2024年 12月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	狭いスペースの中でもしっかりと構造化ができていていること	職員全体で話し合い、定期的に校舎内のレイアウトを変更し構造化を行っている。また、必要なパーテーションなどは手作りで自作するなどしている。教材が非常に多いので、収納スペースを確保できるように工夫している。	より広いテナントに移動できるのがベストだが、今は現実的ではない。収納スペースを工夫し、これ以上利用者さんの活動スペースが狭くならないように工夫していく。
2	職員全員でお子さんを見るという意識があるところ	校舎全体の様子が見えるような支援スタイルであるため、担当以外の利用者さんの動きにも気を配ることができる。専門的支援実施においても、複数の職員で対応できるようにしている。	1年に一回担当指導員を変更することで、指導員がどの利用者さんの療育にも携われるような機会を作り、アットホームな事業所にしていく。
3	定期的にイベントなどを開催しているところ	外部から講師を招いてのサイエンスイベントや、地域の施設を使っでの運動会イベントなど、校舎外とのつながりもしっかりと作りつつ充実したイベントを開催することができた。保護者・利用者さんともに好評であった。	今後も外部講師と連携したイベントを企画している。今までイベントに参加できていない利用者さんも参加できるように日程調整を行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者支援が充実していない	利用者さんへの支援は充実しているが、あまり保護者さんに対してしっかりと助言ができる時間を作れていないように感じる。事務処理の多忙化もあり、児発管が保護者と話す機会が少なくなっていると思う。	児発管の事務作業を効率化し、保護者と対話の時間を増やす。また、ベテラン指導員のカモ借りながら、複数人で対応していく。
2	校舎が狭い	この事業所を開所当時にテナントの選択で失敗していると思う。療育するにはある程度の広さが必要だと感じる。	指導員をこれ以上増やすとさらに狭く感じてしまうため、指導員5人体制を維持したい。収納スペースを工夫し、極力活動スペースを広くしたい。可能であればもっと広いテナントに移転したい。
3	バリアフリーにはなっていない	車いすの利用者さんがいるが、スロープを設置できていない。建物のオーナーさんとの相談ができていない。	今後の肢体不自由児の受け入れの可能性も考慮して、要相談という形になる。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こどもサポート教室「きらり」北田宮校
------	--------------------

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 41名

回収数 30世帯(38名)

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	13	1	0	気持ちもう少し広いとのびのび出来そうだけれど、今のままで充分です。	なるべく広くなるようにレイアウトの工夫を行っている。もう少し広いテナントに移転できるとベストだと考えている。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	27	2	0	1	今で丁度良い位だと思いますが、万が一職員さんが体調崩してお休みになったら他の職員さんが出てきてくれるので余裕を持たせて1人増やしておくとお心かも。	現在1名余裕を持って配置できている状態です。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	6	3	5	入口はバリアフリーで無いけれど、少しの段差なので職員や保護者が手助けすれば問題ない位です。	車いすの利用者さんも在籍しているため、会社や建物のオーナーさん相談して改善に努めます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24	4	0	2	最近奥の方で見ることがないですが、清潔で綺麗だと思います。	継続して清潔に保ちます。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	27	2	0	1	とても丁寧に見てくれているので安心して預けられます。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	26	1	0	3	間違いないと思います。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	28	1	0	1	細かい所も聞いてくれた上で計画書を作ってくれているので安心してしています。	個別支援計画作成の際に、保護者さんの意見も反映できるように作成しています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	28	1	0	1	その通りだと思います。	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	27	2	0	1	その通りだと思います。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	26	0	0	4	毎回、色々工夫されていますので、目から鱗な時もあります。	職員全体で多くの教材を作成することで、子供たちが飽きないような工夫を行っています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	0	13	12	近所へ買物や遠足もしてくれるので外の世界とも関わり持たせてくれます。	
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	30	0	0	0	丁寧に説明してくれ納得しました。	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	30	0	0	0	見ながら意見も出したり修正したりと丁寧でした。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	3	7	11	色々と考えてしてくれています。仕事で参加出来ない事もありますがありがたいです。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	28	1	0	1	細かい所まで話を聞いてくれるので安心してしています。	児発管だけでなく、経験の長いベテラン指導員も積極的に保護者の相談に乗るようにしています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	26	3	0	1	お迎えの時に話したい事や聞いて欲しい事も言えるので安心してしています。モニタリングの時期にお話があり、相談等させてもらっています。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	28	1	0	1	ありがたいです。よくほめてくださるので嬉しいです	褒めて伸ばすを大切にしています。子供たちが楽しく通える事業所を心がけている。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	4	9	12			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	27	2	0	1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	30	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	23	3	0	4		ブログで毎月2回療育内容を分かりやすく発信しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25	0	0	5		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	3	1	8		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20	3	0	7		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	27	0	0	3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	1	1	7		
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	28	2	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	26	3	0	1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	28	2	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	こどもサポート教室「きらり」北田宮校			公表日	2025年 2月 15日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	パーテーションで区切った構造化。またパーテーションが高く閉所的な部分があるので、段ボールでパーテーションを作り高さを調整している。	最低限あるとは思いますがもっと広い方が教材も置いて運動の幅も広がる。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	公休である職員の場所を利用している。場所の拡大や目が散る道具などの置き場所。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0		エアコンなどを定期的に掃除する。取れない部分などは業者等と呼ぶ。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	余暇活動のスペースを個室の代わりにしている。	問題はないがそういった個別空間があればいいなと思うことはある。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	会社内では多くの研修が行われている。	外部での研修にはあまり参加できていない。
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	どの利用者さんの支援にも対応できるように、指導員の担当の配置を工夫している。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	定期的な療育内容の見直しをチームで行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	毎日行えていないが定期的に行い確認し支援を行っている。	全員出勤の日は必ず会議を行うようにしたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	毎日行えていないが定期的に行い確認し支援を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	高学年には自分でスケジュールを立てる等、年齢に応じて工夫している		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	3		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	6		今後連携を図っていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	6	今後地域の児童館と交流する機会を作りたい。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	6		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3		ママカフェ等も開催できればと考えている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約の際に管理者からしっかりと説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	6		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	0	6		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	1	ブログを使って活動の様子を分かりやすくお伝えしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	個人情報などは、シュレッター等注意を行っている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4	イベントに地域住民を講師として招いた。	今後も地域住民の方にイベントに参加してもらいたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	定期的に行うことができている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1	対処法まで共有することができている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	発生時は書類を回覧している。	対処法についても議論する時間を増やしたい。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	会社内でしっかりと研修が行われているため、適切な知識を身に着けることができている。		